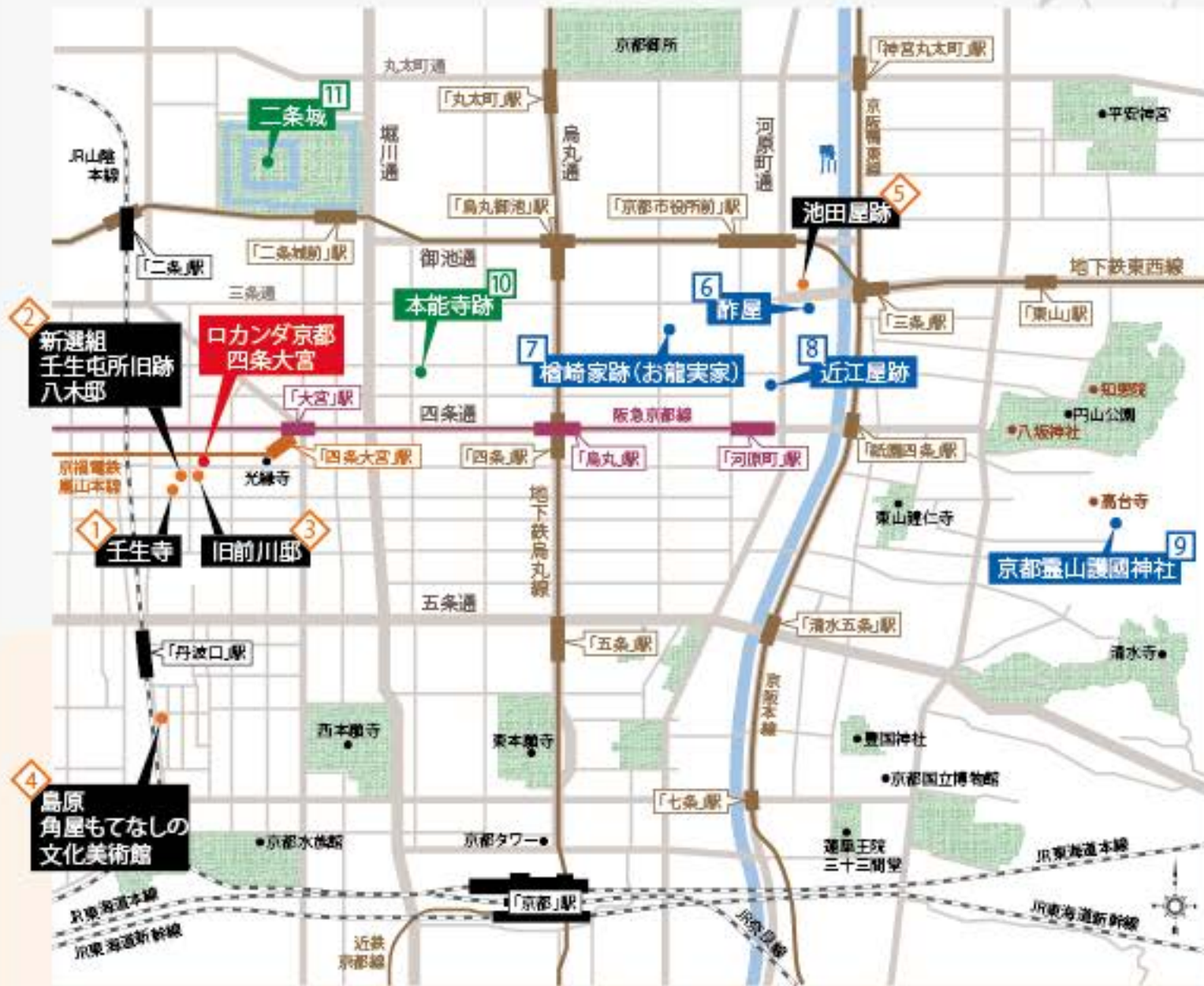


ロカンド京都・四条大宮から 歴史浪漫を辿る旅



新選組 誠



1 壬生寺
境内の「壬生塚」には、新選組隊士のお墓が残されています。当時、武芸や大砲の訓練が行われており、新選組に関する記録も多数残されています。
当ホテルより徒歩2分



2 新選組壬生屯所旧跡 八木邸
新選組は文久3(1863)年に、この地で結成され、3年ほど過ごした壬生屯所時代。芹沢鴨の暗殺の場所でもあり、鴨居の刀傷も残されています。
当ホテルより徒歩1分



3 旧前川邸
新撰組壬生屯所の一つ。山南啓介、野口健司が切腹した部屋や古高俵太郎を拷問したという地下室、当時の落書きが残る雨戸などがあります。
当ホテルより徒歩1分



5 池田屋跡
会合を行っていた尊皇攘夷派が新撰組に襲撃を受けた池田屋跡。この池田屋事件によって、新撰組の名を世に知らしめる事となります。
阪急京都線「大宮」駅より4分
「河原町」駅下車徒歩8分



4 島原 角屋もてなしの文化美術館
新選組隊士も通ったとされる花街、島原にある角屋。芹沢鴨の最後の晩餐の場所としても知られており、現在は角屋もてなし文化美術館として。
当ホテルより徒歩18分



8 近江屋跡
坂本龍馬の妻・お龍(榎崎龍)の実家跡。お龍は天保12年(1841年)、富小路六角近くで誕生し、しばらくしてこの地に移り住んだという。



6 詐屋
坂本龍馬が定宿として利用しただけでなく、龍馬が隊長として率いる結社「海援隊」の京都本部としても使われていました。
阪急京都線「大宮」駅より4分
「河原町」駅下車徒歩8分



10 本能寺跡
「本能寺の変」で知られる織田信長が明智光秀の謀反により、自害・焼失した本能寺跡。本能寺の変後、豊臣秀吉が現在地(寺町御池)に再建。
当ホテルより徒歩15分



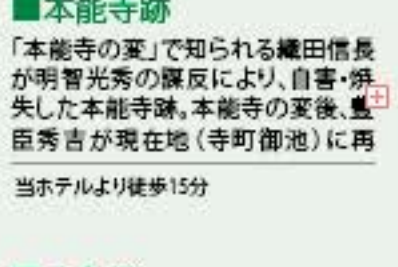
9 京都靈山護国神社
坂本龍馬と中岡慎太郎のお墓からは京都市内が一望でき、毎年11月15日には、坂本龍馬と中岡慎太郎の墓前で龍馬祭が斎行されます。
「四条大宮」駅より京都市バス約19分
「東山安井」駅下車徒歩8分



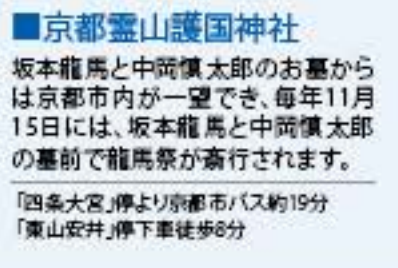
7 榎崎家跡(お龍実家)
坂本龍馬の妻・お龍(榎崎龍)の実家跡。お龍は天保12年(1841年)、富小路六角近くで誕生し、しばらくしてこの地に移り住んだという。
阪急京都線「大宮」駅より4分
「河原町」駅下車徒歩8分



6 詐屋
材木商の詐屋は龍馬が定宿として利用しただけでなく、龍馬が隊長として率いる結社「海援隊」の京都本部としても使われていました。
阪急京都線「大宮」駅より4分
「河原町」駅下車徒歩8分



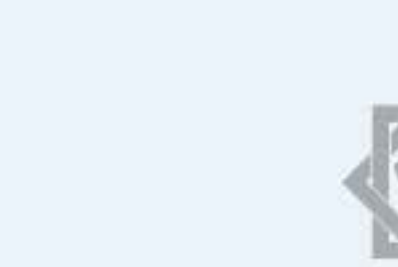
11 二条城
丸一室町の御池上る付近に設けた城館「二条城(二条新御所)」。後に皇太子誠仁親王に献上。現存の二条城は徳川家康によって造営。
当ホテルより徒歩11分「四條堀川」駅より京都市バス約5分、「二条城前」駅下車徒歩2分



8 近江屋跡
慶応3年(1867)11月15日、土佐藩御用達の醤油商・近江屋にかくまわれていた龍馬と中岡慎太郎を凶刃が襲う。坂本龍馬暗殺の地。



7 榎崎家跡(お龍実家)
坂本龍馬の妻・お龍(榎崎龍)の実家跡。お龍は天保12年(1841年)、富小路六角近くで誕生し、しばらくしてこの地に移り住んだという。
阪急京都線「大宮」駅より4分
「河原町」駅下車徒歩8分



6 詐屋
材木商の詐屋は龍馬が定宿として利用しただけでなく、龍馬が隊長として率いる結社「海援隊」の京都本部としても使われていました。
阪急京都線「大宮」駅より4分
「河原町」駅下車徒歩8分

坂本龍馬

織田信長

